

噴火湾環境情報 No.3(2)

ホタテガイラーバ情報



発行：2025年6月17日
函館水産試験場調査研究部
道総研 担当：水上、馬場

2025年6月9～11日に函館水産試験場試験調査船「金星丸」で実施した噴火湾周辺海域のホタテガイラーバの採集結果をお知らせします。QRコードからもアクセスできます→



【ホタテガイ養殖関係者向け】

【ホタテガイラーバの出現状況 調査期間：2025年6月9～11日】

- 出現量は前回調査から大きく減少**（全湾平均315個/トン，図1左）。
出現量は5月調査(2,593個/トン)から大きく減少し、湾中央部で最大でした。
- 大型（250 μ m以上）が主体**（図1右）。
現在も付着が継続しているとみられ、付着数はさらに増えると考えられます。
- 今後、出現量は減少する見込み**（図1右）。
200 μ m未満の後続群は少なく、大型ラーバの出現は今後大きく減少する見込みです。

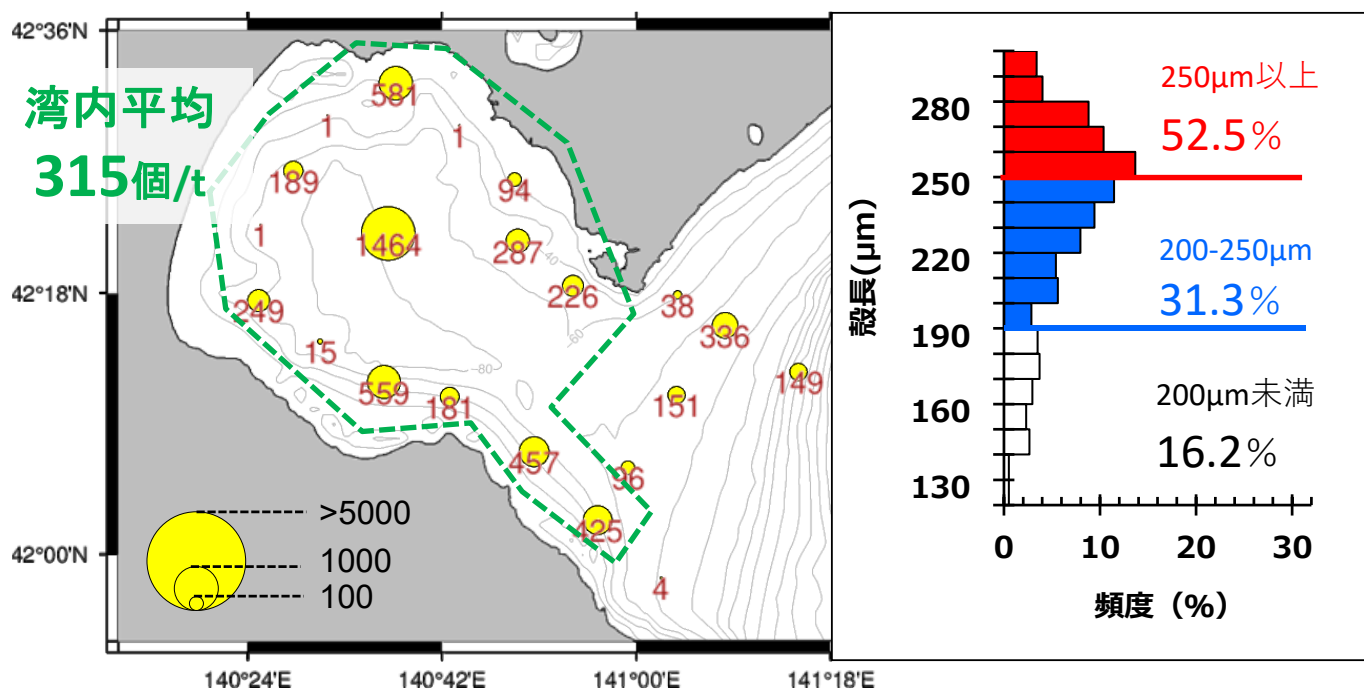
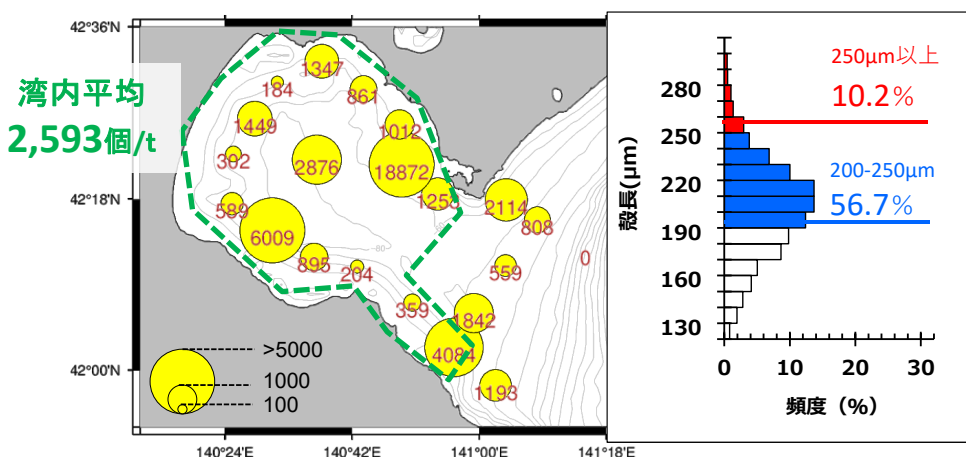


図1 6月のホタテラーバの水平分布（左）と殻長組成（右）
参考 5月の全湾調査時のホタテラーバの水平分布と殻長組成



本調査は北海道ほたて漁業振興協会の受託研究 噴火湾養殖ホタテガイ生産安定化試験で実施しています。
検鏡作業では胆振地区水産技術普及指導所並びに栽培水産試験場の協力を得て実施しています。

【ホタテガイ養殖関係者向け】

【2025年4～6月のホタテガイラーバの出現状況まとめ】

○5月が出現のピークであった（図2中段）

出現量は4月から5月にかけて増加し、6月には大きく減少しました。

○湾内のラーバは全体的に分布（図2）

地点毎のばらつきはありましたが、全域で高い密度でした。

○太平洋沿岸の出現は非常に少ない（図2）

太平洋沿岸の出現量は20個/トン未満でした。

緑：湾内、ピンク：湾外（湾口付近）、青：太平洋沿岸

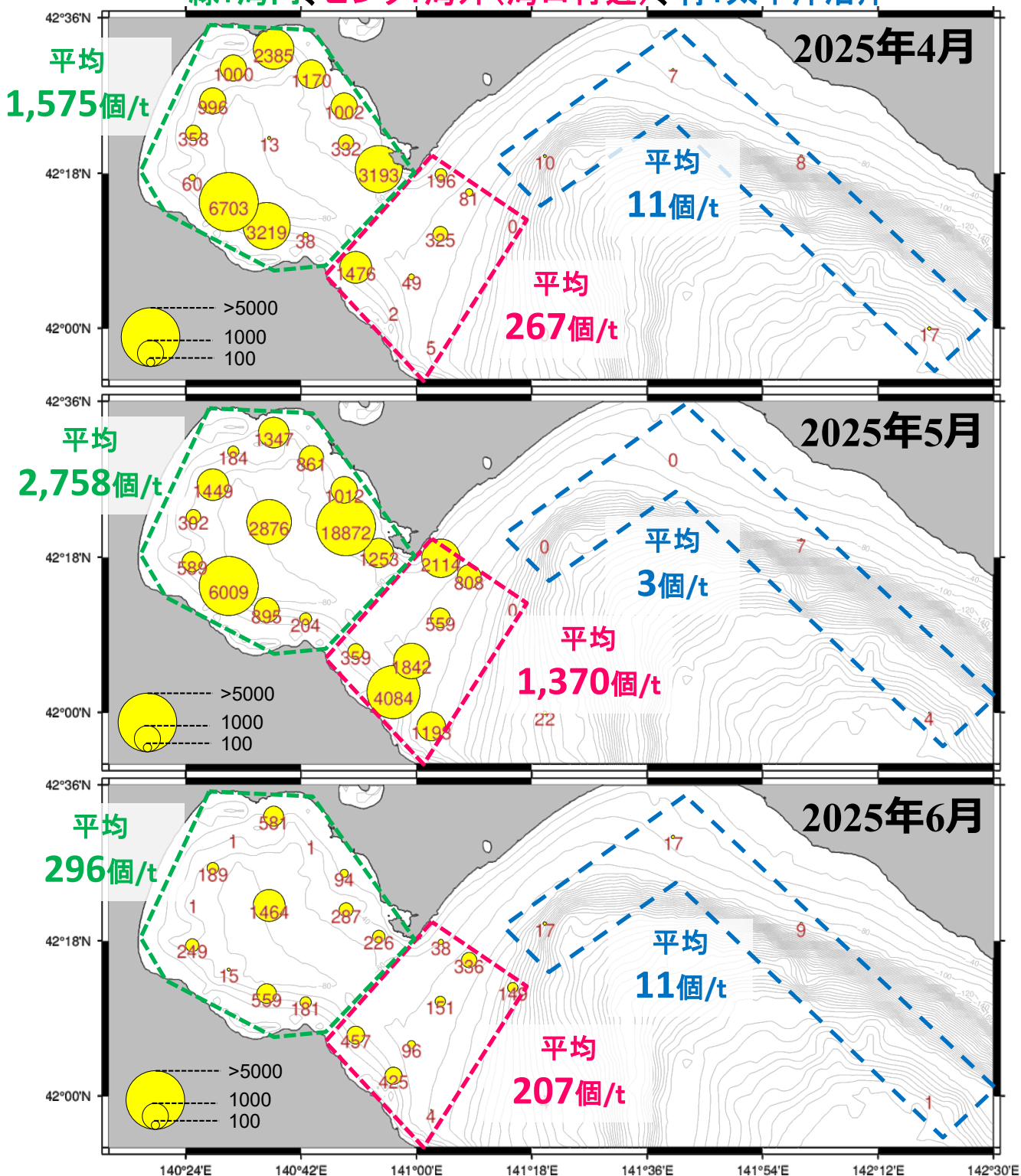


図2 4～6月のホタテラーバの水平分布（上:4月、中:5月、下:6月）